

新任者教育講座を受講して

株式会社 ユーベック
古口 香織



今回参加させていただいた研修では、最初に、津上昌平氏による講義を受けました。「環境とは何か」という問いから始まり、環境問題への取り組みの歴史や環境関連法規、計量法について学びました。環境関連法規に関しては、私自身まだまだ知らないルールがあり、このような仕事をしていく上で、法規を正しく理解しておくことは必要不可欠で、もっと勉強が必要だと感じました。

次に、大山善彦氏による講義で、安全衛生について学びました。労働災害の状況や労働安全法の中身について説明を受けました。

午後は、眞利子浩氏による講義を受け、サンプリングの重要性・分析技術・トレーサビリティ・データの取り扱いについて学びました。私自身は、サンプリングに出ることはないので、詳しいサンプリングの方法やサンプリングに関する決まり事など、言葉だけは知っていたことを初めて理解できたこともあり、とても興味深いものでした。分析技術に関して、特に機器分析の説明・分析原理については、今の自分には少し難解でした。でも、やはり分析をする者として、自分の担当分野だけでなく、幅広い知識を持ちたいと思える講義でした。

今、私は分析に携わる仕事をしていますが、そのきっかけは「環境問題」に対して自分なりにできる方法で貢献したいと思ったからです。4月に新社会人として働き出し、少しずつ会社の仕事にも慣れてきたころに、今回の千環協主催の新任者教育講座に参加しました。

会社での仕事は分析がメインで、慣れとともに、流れ作業のようになってしまったり、分析の原理を理解せずにただ作業をしている、ということもありました。私にとって今回の研修は、初心を思い出させてくれるきっかけになりました。また分析担当者として、数値として結果を出すという責任が伴うことを、日々忘れずに分析に取り組んでいきたいと改めて思いました。今回の研修の内容は、日常の仕事に深く係わるものばかりでとても勉強になりました。でも、今回の研修だけでは理解できないところもたくさんありました。まだまだ、勉強不足と痛感しました。同業者の方たちともお話ができて、いい刺激をもらえました。

このような有意義な研修に参加させていただき、本当にありがとうございました。